

第1回基山町総合計画審議会

(要点筆記)

日 時：令和6年2月20日（火）14：00～15：20

場 所：基山町役場 4階大会議室

出席委員：15人

田口英信 委員、尾石清孝 委員、平野かすみ 委員、内山哲夫 委員、
日高紀子 委員、神原玄晃 委員、天本直美 委員、宮本浩子 委員、
永尾浩一 委員、稲毛あゆみ 委員、橋本高志 委員、森田昌嗣 委員、
土肥勲嗣 委員、井崎和也 委員、天野昌明 委員

欠席委員：3人

平野守 委員、江藤裕子 委員、松本孝之 委員（代理出席：吉山英也 氏）

事務局：3人

企画政策課：亀山課長、原主幹、村田主任

出席者：1人

松田町長

傍聴者：なし

- 1 委員の委嘱
- 2 町長あいさつ
- 3 自己紹介、会長・副会長選出
- 4 会長・副会長あいさつ
- 5 諮問
- 6 会議録署名委員の選任
- 7 議事
 - （1）第6次基山町総合計画について
 - （2）その他
 - ①次回審議会の開催時期について

1 委員の委嘱

(事務局により開会、各委員に委嘱書を交付)

2 町長あいさつ

本日はお忙しい中、ご出席いただき感謝する。本日からいよいよ総合計画の審議会が始まる。今度は第6次ということで、これは10年に1回行うもので、実は10年前に私が副町長として4月から赴任した時に第5次策定の中間あたりから関わらせていただき、かなり一生懸命に各ページを詰めた記憶がある。それから1年半ぐらい副町長を務めて、その後町長ということで2期、そして今日から3期目を務めさせていただくこととなった。

総合計画というのは、町の最高計画であり、それに基づいて町が動いていく。その第6次策定のための審議会が今日からということに、大げさに言うと運命的なものを感じながら、これからこの計画を作って10年間で基山町がどれだけまた良くなるようにできるのか、いろいろな希望や期待を持っているところ。

現在の基山町は実は今3年連続でわずかではあるが、人口が増加しており、3月までの間に45人ほど減らなければ4年連続人口増ということになる。ただ、毎年3月が結構減るため、安心できない感じではあるが、通常通りいけば4年連続人口が増えるという形になる。

税収についても、令和4年度が基山町史上最高の税収を町民の皆様や企業の皆様からいただいたところ。基山町の人口は一番多い時は25年前で今より1,600人多かったが、その時の税収よりも令和4年度の税収が多いということで、令和5年度が間もなく終わるが、令和4年度をまたわずかに上回るような形で史上最高をまた伸ばすことになっている。

それから基山町の財政もここ10年間でずっと良くなって、これも過去20年間ぐらいでは最健全な財政になっている。なぜ過去20年間かというと、それより前は財政規模が違い比較にならないため。

こう言うとなんとなく、「人口が増えて、税収が増えて、財政良かったら何も問題ないだろう。」と思われる方もいるが、そうではない。基山町の人口の中で一番多い年齢は74歳で、70歳から75歳の年代が人口の上位を占めるみたいな形になっている。どこでもそうだろうといった話になるが、隣の鳥栖市などは一番人口が多い年齢は48歳。なぜ基山町が今の状態になっているかということ、もともと70歳から75歳ぐらいの方は団塊の世代で多いが、それにちょうど重なったのが、ベッドタウンとして基山町に住宅がたくさんできて、転入者が押し寄せた年代が今の70歳から75歳ぐらいの方々ということ。

その結果、その年齢層が多いことから今何が起きているかということ、その時期に新しいベッドタウンに来られた方々は、もうお子さんがみんな基山町から離れていて、東京、大阪、福岡とかで活躍されているので、ほとんどはもう70歳以上の2人暮らしという家庭が非常に多い。もっと言うと、そのどちらかが亡くなって一人暮らしの高齢者世帯が非常に多いということで、今、一人暮らしの高齢者世帯率で見ると本当に全国でもトップレベルとなっている。あと15年後ぐらいがピークになるが、おそらく全国ト

ップぐらいになるのではないかと思っている。その結果、正直、最近孤独死の数が非常に増えてきている。

それから今度は子どもたちの方に目を向けると、子どもの数はおかげさまで今増えている。鳥栖市が残念ながら、もう子供の数が減っている段階にきている。基山町もそうだった。ベッドタウン化したときは非常に多く、そこからどんどん減っていったが、今また基山町の子どもの数が少し増えている。ただ、特別支援学級など発達障害の子どもの数が圧倒的に増えているという問題があり、子どもだけでなく、保護者が産後うつを始めとして精神的なものなど病気をされている方が増えてきており、そのような問題への対策も一生懸命行っている。今年は4月に、おそらく全国でも相当早いと思うが、「こども家庭センター」というワンストップで支援するセンターを立ち上げる。今の保健センターの1階を利用して様々な保護者の悩み、お子さんの悩みに対応できるようなセンターを作るようにしている。

高齢者については、もう予想して4年前からプラチナ社会政策室を作って対応しているところ。プラチナ社会政策室については4年前にできたが、最初の方はずっとコロナウイルスへの対応をしていた。最近はまだコロナウイルスが落ち着いてきたので、本来の業務へ戻っているという形になる。

先ほど述べたような基山町の問題点はまだまだたくさんあるというように思っているのですが、今それなりに基山町の勢いは出てきているが、それを継続もしくは加速化しつつ、もう少し一人ひとりの町民の皆さんが明るさを感じられたり、ほっこりしたりと何かを感じ取れるような町になっていかないといけない。人が増えたとか、税収が増えたとか、財政が良いと言ってもそれを感じ取れないと良い町にはならないのではないかと私は思っている。これからの10年間、第6次の計画の中ではぜひ、そのようなマクロ的な勢いは継続、且つ加速化しつつ一人ひとりの方々が、明るさを持ちそして将来に希望を持てるような、そんな町になったらいいと強く思っている。

今回は体育協会や文化協会の方々にも参加していただいているが、特に明るさを持つためには、冗談を言うわけではないが、「街灯を明るくするのが一番」で、夜暗い基山町というのを克服していかなければならないが、それ以外にスポーツや文化、音楽などで気持ち的に明るくなっていくということも大事だと思っている。様々な明るくする運動、私は勝手に「基山町明運動」と言い始めたところだが、基山町と言ったら「あの明るい運動ね」となるような感じになれば嬉しい。

幸いなことに今年は国スポがあって、基山町は卓球が行われる。全国から卓球の愛好家がたくさん来るので、そういう方々が基山町に来た時に「明るい町だな」「おもてなし抜群の町だな」というような気持ちを持っていただくようなことも期待している。

たくさん話したが、少しでも基山町が良い町になるように、ぜひ皆さま方のお力をお借りして素晴らしい6次の総合計画を策定できるよう、最後までご協力いただくことをよろしくお願いします。

3 自己紹介、会長・副会長選出

(田口委員)

基山町商工会並びに基山町観光協会などの会長を仰せつかっている。事業は電機工業

をしており、第4次の終わりあたりから第5次、第6次と続けてずっと基山町の変遷を見てきているが、人口の減少という話を町長がされたが、それに違わず、我々商工業も含めて、農業もだが、後継者不足などいろいろな問題がのしかかっており、非常に基山町の商店街を含めた明るさを取り戻すことに四苦八苦しているが、この第6次の計画で、もっと基山町が活性化できるように頑張っていきたいのでどうぞよろしくお願いします。

(尾石委員)

14区の区長をしている。この2年間区長会の会長をさせていただいた。就任した時は大変だと思ったが、なかなか楽しい仕事で、基山町を明るくすることを少しでもお手伝いできればと思っている。

(平野かすみ委員)

民生・児童委員を務めている。よろしくお願いします。

(内山委員)

令和2年より基山町消防団団長を拝命している。3月いっぱい退団する予定であり、新しい団長が後任につくがよろしくお願いします。

(神原委員)

観光協会副会長を務めている。どうぞよろしくお願いします。

(日高委員)

社会福祉協議会事務局長を務めている。3月で退職するがこの審議会に参加させていただき非常に光栄に思っている。社会福祉協議会は皆さんと一緒に元気になれる事業をさせていただいているので、今後ともそういった形でまちづくりに貢献させていただければと思っている。

(天本委員)

基山中学校PTA副会長を務めている。初めての参加で何も今分かっていないが、何かお役に立てることがあればいいなと思っている。よろしくお願いします。

(宮本委員)

基山町文化協会の会長を拝命している。第5次の基山町総合計画審議会にも参加させていただき、二期続きで光栄に思っている。どうぞよろしくお願いします。

(永尾委員)

小学生から大人まで、スポーツ全般の役員その他のお世話をしている。微力ながらお手伝いさせていただく。どうぞよろしくお願いします。

(稲毛委員)

小・中・高の子どもがおり、生まれも育ちも基山町。結婚して県外に行ったが、やはり家を建てるならと思って基山町に住んでいる。よろしくお願いします。

(橋本委員)

県内の地域おこし協力隊のネットワークみたいなものを作って、現在県内に 40 名ほどいるが、そのサポートをさせてもらっている。よろしくお願いします。

(森田委員)

九州大学ではファブリックデザインを専門としてハードとソフトをこれまでやってきて、ハードは博多駅前の広場の設計・計画を 10 数年前にした。その他まちづくりなど、基山町とももう 10 年来のお付き合いをさせていただいている。よろしくお願いします。

(土肥委員)

4 年間まちづくり審議会の委員をした。基山町はかなりまちづくりが活発だなという印象を持っている。政治学を専門としており、地方自治についても大学で教えており、この取り組みでいろいろなことを学ばせてもらいたいと思うし、私にできることで何か貢献できれば嬉しいと思う。どうぞよろしくお願いします。

(松本委員 代理：吉山氏)

経済産業省では、商工業関係を管轄させてもらっており、国の政策や方向性というところを意見させていただき、皆様のお力になればと思う。

(井崎委員)

総合計画関係は佐賀県では我々政策部の方で所管しており、昨年 8 月に施策方針 2023 ということで新たな総合計画を策定したところ。実は私は十数年前にも政策部におり、2011 年の総合計画を私の方で策定して、10 年後ぐらいにまた今の部署に戻ってきて新しい総合計画を作った。計画行政に長く携わっているが、計画行政もこの 10 年ぐらいでだいぶ変わってきており、それらを踏まえて佐賀県の総合計画も大幅に見直したところなので、そういった考え方などについて、私なりに少しでもお力になればと考えている。

(天野委員)

生まれも育ちも基山町だが、基山町では教師の経験がなく、一昨年の 9 月 30 日まで鳥栖市の教育長を 10 年間拝命していた。基山町のことに関われるということで非常に喜んでいる。頑張っていきたいと思うのでよろしくお願いします。

(事務局)

(事務局の体制について紹介)

続きまして会長及び副会長の選出に移る。会長・副会長については、基山町総合計画審議会条例第5条に、「会長及び副会長は委員の互選により定める」と規定されているが、どなたか会長・副会長に立候補される方はいるか。立候補がなければ事務局から案をご提示させていただいてよろしいか。

(多くの委員から異議なしの声)

それでは会長を森田委員、副会長を土肥委員にお願いできればと思うがよろしいか。

(全委員が賛同)

4 会長・副会長あいさつ

(森田会長)

会長を引き受けさせていただく、どうぞよろしくお願いする。前回の第5次でも会長をさせていただき、それ以来基山町とお付き合いをさせていただいている。この時「アイが大きい基山町」という大きなキャッチフレーズをつけて、内容も非常に富むものになったと思う。実際この計画に基づいて着実に成果を上げてきているというのが実感としてある。

先ほど町長も言われたが、「皆がわくわくする、楽しく生活できる場づくり」というところでの、総合計画が大きな基盤になると思うので、ここで皆様方も、忌憚のないご意見をいただければと思う。会の進行についてはご協力の程よろしくお願いする。

(土肥副会長)

私は、今の職場は熊本大学だが2年前までは久留米大学にいた。生まれは熊本県のあさぎり町という平成合併をしたところだが、そこから福岡に移ってきているので実は福岡の方が長くて、今久留米市に住んでいる。そのため八女市の総合審議委員会の会長も務めた経験があり、福岡県と熊本県のことを見ているため、そういった佐賀県とは少し違う観点から何か発言できることがあれば、いろいろ発言させていただきたいと思っている。どうぞよろしくお願いする。

5 諮問

(松田町長より森田会長へ諮問書を手渡し)

6 会議録署名委員の選任

(事務局)

議事に入る前に、本日3名の委員が欠席となっているが、委員18名のうち過半数の出席があるため、基山町総合計画審議会条例第6条第2項に基づき会議が成立していることを報告する。

また、基山町審議会等の会議の公開に関する規程に基づき、今後この会議を公開とするか否かを皆様に諮ることとなっている。今後は原則公開ということで良いか。

(異議なし)

(会議録署名委員に尾石委員と平野かすみ委員を選出)

(会長が議長となり進行)

7 議事

(森田会長)

議事の(1)第6次基山町総合計画について事務局より説明をお願いします。

(事務局)

(事務局より(1)第6次基山町総合計画について説明)

(森田会長)

只今の事務局からの説明について、御意見、御質問はあるか。

無いようなので、続いて、議事(2)その他①次回審議会の開催時期について事務局に説明をお願いします。

(事務局)

(事務局より(2)その他①次回審議会の開催時期について説明)

(森田会長)

只今の事務局からの説明について、御意見、御質問はあるか。

(事務局)

全体を通して何でも構わないので、何かこの場であればご意見いただきたい。本日は会長がおっしゃったように委嘱と諮問がメインで、この先のスケジュールについてもご説明したが、また計画案については庁舎内でいろいろ揉んで皆様にお出しすることになると思う。今はまだ、たたき台もない状態ではあるが、アンケート等はしっかりととりまとめを行っており、ワークショップも2月にすでに2回開催し、今週と来週であと2回実施する予定としている。

(松本委員 代理：吉山氏)

ワークショップは今どのような感じで進んでいるのか。まとめるというのも結構大変なところがあると思う。

(事務局)

ワークショップの1回目に42名ご参加いただき、1回目は町民アンケートの結果を用いたクイズを出して答えていただくというような少し場を和ませる雰囲気づくりということで開催した。例えば、基山町を好きな人が何パーセントぐらいいらっしゃるのかといったことや、基山町に産まれてからずっと住んでいる方が何パーセントぐらいいらっしゃるのかといったことを出題して皆さんが答えを出す。これを各グループで競っ

て正解したところには、最後にささやかな景品を用意しているというような、1回目はそういった形ですごく和気あいあいと盛り上がって開催した。

2回目は、基山町の強み弱み、それから基山町の残したいこと、これからも守っていききたいことというのを付箋に書いて出し合って発表するという形で開催した。

今からだんだん計画に向けて皆様の意見をどんどん吸い上げて、最終的にはワークショップの意見を集約したところで、基本構想、基本計画の方に載せていくというような形。

今、吉山さんから言われたように、第5次計画も後ろの方にワークショップの様子を載せている。実は町長にも副町長として来られる前に一町民としてワークショップに参加していただいた。意外とSGKプロジェクトなどはワークショップの中から出た意見で、基山町のまちづくりにNPO法人として今活動を活発にされているというようなことに繋がっている。

その他にもワークショップで出た意見というのは、本当に生の意見で行政、まちづくりに直結するようなものが結構出てくるので、そういったところは大事に生かしていく。ご心配されているように集約はとても大変だが、一人でも多くの意見を計画に盛り込んでいけるように事務局としてしっかり取り組んでいく。

(町長)

第5次でも基山（きざん）は結構取り上げられているが、基山（きざん）をもう少し町民の人にとってはシンボル、誇りとして盛り上げていきたい。町外の方には、基山（きざん）をもっともっと知ってもらいたいと思っている。

また、第5次は子育て支援や定住促進などその分野ごとに実施していたが、今は子育て支援と定住促進の組み合わせや、定住促進と雇用・産業振興の組み合わせというような発想がないと、一つの考え方だけではうまくいかないと思っているので、その辺をどう上手く取りまとめていくのかというのは課題だと思っている。

あとこれは夢みたいな話だが、基山町は74歳が一番多いが、75歳の方に「25年前の50歳の時は昨日のように思いませんか。」と聞くと大体「そうだね。」と返ってくる。そこから「25年前が昨日なら、明日になったらあなたは100歳なんで。」と、「基山町は100歳以上の比率が一番多い町にきつとなれると思うし、それは決して悪いことではなく良いことなので、皆で生きましょう。」というような話を最近ずっとしている。

長く基山町に住みながら基山町の状況をずっと鳥栖市の重責で見てきていただいた天野委員や、基山町外から来て、今や基山町一番の町民らしくなった橋本委員あたりにひとことずついただきたい。

(天野委員)

自分自身がちょうど古希で70歳になる。今度同窓会を予定しているが、そういった場では「基山町が今どのようになっているのか知りたい」というよく話が出る。やはり基山町の現状についてもっと表に発信していくべきだと思っていた。今回このような形で審議会委員をさせていただくこととなり、基山町のためにやっていきたいと思っている。また、高齢者にとって一番最高の住みよい町を作っていくのがやはり基山にとって

素晴らしい取り組みじゃないかと思っているので、私も非常に期待している。

（橋本委員）

私は今、地域おこし協力隊のサポートをしているが、私自身が 2015 年に地域おこし協力隊で基山町にやってきた移住者で、3 年間の任期を務めさせていただいた後、居心地が良くてそのまま定住した。今後の政策に希望を見つけていけたらと思っている。今ニュースとかでは暗いものばかり、ネガティブなものばかりが広まりやすく、伝わりやすく、正しい情報というのはどんどんインターネットの情報化が進んでいくにつれて、より手に入れにくくなっているのかなと感じている。いろいろなトラップや嘘が多くて、そんな中でいくつか希望を見出すことが子どもたちの生きがいや豊かな心を育むのかなと考えながら子育てをしている。大人たちも然りということで、イメージを描いてイベントをしたり、行事を盛り上げていこうと動いているが、プレイヤーは多いけれども繋がりがあまり見られなかったり、面白い人もたくさんいるけれども、ちょっと頑固だったり意固地だったり伝わりにくい部分、言語化が苦手な人もいるのでお手伝いしていけたらと思って、私自身の 10 年間の計画なども今考えている。

町長が 3 期目ということで、個人的に思ったのは、1 期 2 期、政治家目線に立つと実績を残すとか残さないとかといった話になっていくと思うし、がむしゃらに頑張っている部分もあるだろうと思う。それが 3 期目になると落ち着いてきて、本当に町長がやりたいことをやれるのがこの 3 期なのかなと期待する部分もあり、そしてこういった基山町の未来を描くこの 10 年の総合計画に自分自身が参加できることが非常に光栄であり嬉しく思う。

（神原委員）

第 5 次総合計画の総合計画は大変すばらしいものができていると思うが、今回の第 6 次の計画はどんな感じになるのか。第 5 次を踏襲したもの形になるのか、それとも新しく変わっていくのかと、思っているところ。第 1 次から第 5 次までずっとあると、たぶんそれぞれに特色があると思う。今回はその辺の特色を踏まえて過去から学ぶというのか、新しいものがどうなるのか非常に楽しみに思っている。

（天本委員）

小中学校の実情や、保護者さんたちの間でのお話しといったことで協力出来たらいいと思っている。

（稲毛委員）

他県にずっといたが大きい町だったので、このような会議に加わることなどできなかったが、基山町はコンパクトな町で博多も近く住みやすく、いろいろなことに参加できる町だなと思っている。

子どもたちもいろんな行事に参加させていただき、文化を知って体験させてもらえる町ってそんなにないなと思って、基山町にみんな住んでほしいと思っている。また、今回学ばせてもらい、基山町においでと言えるような人になりたいと思う。

(町長)

先ほどの神原委員のご意見だが、第5次と第6次でまずはっきり違うのは、第5次を作った時は基山町がずっと落ちてきている時だった。まさに底が見えない状態で第5次を作った。

幸いなことに今は少し上向いた形になっているところで第6次を作るということになっているので、まずは置かれたシチュエーションが違うことを踏まえて考えていかなければならないと思っている。第5次では下がっていくのを止めなければならなかったもので少々乱暴というか、とにかく必死という世界があり、マクロ的なことを一生懸命考えていたので、一人ひとりの町民の皆さんの幸せにはなかなかたどり着けていなかったかもしれない。

ただ、今は逆に安定してきているので、今まで通りにバリバリもやらなくてはならないが、併せて町民の方に寄り添う形を考えていかなければならないと感じており、一人ひとりの要求をどこまでこの計画の中に盛り込んで実行に繋げていくかというのが今回のポイントになるのではと思っている。

(尾石委員)

一番は住民が楽しい、住んでいて嬉しいまちづくりというのが将来的に見て目標であってほしいと思っている。

たとえ町長が100歳になってもずっと続く問題だと思うので、どうしたらよいまちづくりができるかというように考えていってほしいと思う。私は基山町にきて良かったと思っている。

(松本委員 代理：吉山氏)

土肥副会長は他のところでこのような会議に参加されたことがあるということで、何か参考になるようなお話しがないか。

(土肥副会長)

ここ4年間まちづくり審議委員として基山町に伺って、実はそれまでは基山のパーキングエリアを利用したり、駅を通過したことはあったが、それ以外に基山町に来たことがなく、まちづくり審議会に携わらせてもらう際に初めて知った。

基山町は「アイが大きい基山町」というスローガンを掲げているが、その「アイ」というのは「私」かなと思っており、まちづくり審議会の委員さんや職員一人ひとりがとても個性的で、「自分はこう思う。」ということを非常によく話される。他市のまちひとしごとの審議員として10年ほど関わっているが、そことはちょっと違って、ここはむしろ先進地だと感じているので、他を気にせずに基山町のその「アイ」をどんどん大きくするような取り組みを、自信をもって進めていくことが大事だと思う。

(町長)

土肥副会長がおっしゃるように「私」というように考える考え方も素晴らしいと思うし、元々は、これは基山（きざん）をイメージしており、基山（きざん）という立派な

山があつてということも大きな意味であつたと思い、他にもいろいろ「愛」もあるだろうし、みんな様々な意味がある。

（井崎委員）

先ほどご挨拶の中で、総合計画など計画行政に長く携わってきたとお話しをさせていただいたが、この 20 年ぐらいで東日本大震災やコロナなど世の中が大きく変わる出来事がたくさんあり、行政というのはその継続性が大事だと言われているが、首長は 4 年に 1 回の選挙で選ばれる。佐賀県の総合計画というのは、平成 10 年代に一旦 10 年間の計画をやめて、首長の責任期間である 4 年間の計画に変えている。その中で 4 年間だと先を見据えていないということもあるため、10 年後の目指す姿に対してこの 4 年間で何をするのかという計画に 2007 年から変えている。そうは言っても、私は 2011 年の総合計画を作ったが、その年というのは東日本大震災が起きた年で、もう世の中何もかも変わってしまった。なので、計画の形としては 10 年先を見据えて 4 年間何をするのかという計画の形自体は変えなかったが、そこを 1 年 1 年ローリングするという進化型の計画という形に 2011 年の計画は変えた。

そこから数回同じような計画を作ってきたが、今度はコロナがあつた。これももう評価ができないくらい世の中が変わってしまった。1 年 1 年の評価すらなかなか難しいということもあり、2023 年に作った計画は、もう計画という細々したものは何も書かずに、施策方針という大きな方向性だけ示すという形にした。

今回、基山町さんも新しく計画を作られるということだが、計画の期間や計画の形というところも議論していくと良いかなと思っている。

（森田会長）

審議会という形になるとどうしても少し意見を出しにくいことがあるかもしれない。立場で発言するというよりも、個人の意見として発言されることが必要なというように思う。前回は、基本方針 5 つのテーマで基本計画が立てられたが、相互にかなり関連していて、その関連している状態をどのように絡まない状態で解き明かしていくかという基本計画を組み立てられたらいいと思う。私も、もともとコンサルをやっていたので、こういった計画を立てたことがあるが、非常に言い方が悪いが、役所的方便で作られたものが多かった。10 年前に基山町のこの計画の策定に携わらせていただいて、非常に全然違う形で作成されており、これは面白いなと思っている。

その辺が今基山町の持つ独自性、個性が出ているのだろうと思う。先ほど言った通り、一つ一つがやはりそのテーマで完結させていくことによってお互いの相互作用がもっと出せたらいいと思った。

（事務局）

次回以降、なるべく皆様が発言しやすいような雰囲気づくりを事務局としても工夫をしたいと思う。

これをもって、第 1 回基山町総合計画審議会を閉会する。

基山町総合計画審議会条例第 11 条の規定により、ここに署名する。

令和 6 年 月 日

基山町総合計画審議会 会長

委員

委員